

- 問1 ロシア、サウジアラビア、アメリカ合衆国などが主な産出国となっている鉱産資源について、その特徴や歴史的背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 燃焼時の二酸化炭素排出量が他の化石燃料に比べて極めて多いため、近年は世界的に利用が禁止されている。 | 2. 20世紀後半に石炭に代わって主要なエネルギー源となり、火力発電の燃料や自動車の動力などに多用されている。 | 3. 鉄鋼業の重要な原料として利用されており、主な産出国はオーストラリアやブラジルである。 | 4. 産業革命を支えた主要な動力源であり、主に古期造山帯の周辺で多く産出される固体の燃料である。 |
|--|---|---|--|
- 問2 ベトナムの1980年代から2020年までの貿易統計を分析すると、輸出入の総額が急増していることがわかります。これと並行して起こった、ベトナムの輸出構造の変化について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 経済成長に伴って貿易総額が増大し、主要な輸出品目が米などの農産物から、機械類などの工業製品へと変化した。 | 2. 貿易総額は増加したものの、輸出の主体は依然として原油や米などの一次産品であり、工業製品の割合は低下した。 | 3. 国内の工業化が進んだ結果、製品を自国で消費するようになり、1980年代に比べて輸出総額は大幅に減少した。 | 4. 経済成長とともに輸入が抑制されたため、米などの農産物の輸出に特化し、資源輸出への依存度が極めて高まった。 |
|---|---|---|---|
- 問3 世界各地で結成されている地域協力組織のうち、アジア・太平洋地域の国々が参加するAPEC（アジア太平洋経済協力会議）について、その活動の性質や特徴を正しく説明しているものを選びなさい。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 加盟国間で共通の通貨を導入するとともに、加盟国間の関税を完全に撤廃して強力な経済統合を目指している。 | 2. 北米の特定の3か国間において、農産物や工業品の関税を撤廃し、投資のルールを定めることを目的としている。 | 3. 東南アジアの諸国によって構成され、域内における紛争の解決や経済成長の促進を主目的としている。 | 4. 先進国だけでなく発展途上国も多く参加しており、多様な経済発展段階にある国々が協力して自由な貿易を目指す。 |
|---|--|---|---|
- 問4 近年、インドで急速に発展しているIT産業において、アメリカ合衆国との大きな時差やインターネット環境を活かして行われている効率的な業務形態を何と呼びますか。 (2018年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|-------------|-----------------|----------------|
| 1. 直接投資による現地生産 | 2. 垂直的な経済統合 | 3. 対面型のアウトソーシング | 4. 時差を利用した国際分業 |
|----------------|-------------|-----------------|----------------|
- 問5 インドの言語政策について、憲法で定められた連邦公用語と、歴史的背景から広く使用されている準公用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|-------------------------|------------------------|--------------------------|
| 1. 連邦公用語：ヒンディー語、準公用語：フランス語 | 2. 連邦公用語：ヒンディー語、準公用語：英語 | 3. 連邦公用語：ベンガル語、準公用語：英語 | 4. 連邦公用語：タミル語、準公用語：スペイン語 |
|----------------------------|-------------------------|------------------------|--------------------------|
- 問6 アジア州、アフリカ州、ヨーロッパ州における主要穀物の生産統計において、アジア州の生産量が他の州を圧倒しており、特に小麦と並んで大きな割合を占めている穀物があります。この穀物の生産がアジア州で盛んな理由として、自然条件と社会条件を組み合わせた説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 冷涼な気候でも栽培が可能であり、家畜の飼料やバイオ燃料の原料として世界的な需要が高まっているため。 | 2. 年間を通じて降水量が少ない乾燥帯に適しており、広大な土地を利用して機械化された大規模農業が行えるため。 | 3. 夏の降水量が多く高温多湿な気候に適しており、単位面積あたりの収穫量が多く多くの人口を養えるため。 | 4. 地中海性気候のような夏に乾燥する地域に適しており、古くからパンや麺類の原料として広く流通してきたため。 |
|--|--|---|--|
- 問7 アジアの諸地域のうち、タイ、インドネシア、ベトナムなどの国々が含まれる地域に該当するものを次の中から選びなさい。 (2021年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 東南アジア | 2. 東アジア | 3. 南アジア | 4. 中央アジア |
|----------|---------|---------|----------|
- 問8 東南アジア諸国連合（ASEAN）が目指している「地域協力」の内容として、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 東南アジア地域の安定と経済成長を目的とし、域内の関税撤廃や経済格差の是正を進めること | 2. アフリカ大陸全体の政治的な統合と紛争解決を目指し、経済開発を支援すること | 3. 先進国が途上国の一次産品を高い価格で買い取ることで、生産者の生活を支えること | 4. 北米大陸の国々が協力し、自由な貿易圏を形成することで経済を活性化させること |
|---|---|---|--|
- 問9 2019年におけるイギリスへの移住者の出身国を調べた統計において、第1位となっている国があります。この国は、牛を神聖視するヒンドゥー教を信仰する人々が多く、近年では情報通信技術（ICT）関連産業が目覚ましく発展していることで知られています。この国名を教えてください。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|----------|
| 1. インド | 2. タイ | 3. 中国 | 4. ルーマニア |
|--------|-------|-------|----------|
- 問10 アラブ首長国連邦から日本への輸出額の内訳において、原油や液化天然ガスなどの資源が約9割を占めている現状から推察される、日本のエネルギー事情に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 日本はこの国との貿易において、工業製品の輸出額よりも資源の輸入額の方が極めて少ない「貿易黒字」の状態にある。 | 2. 日本は発電や輸送に欠かせない化石燃料の多くを、特定の地域や国に依存している。 | 3. 日本は国内で消費する原油の大部分を自給できており、この国からの輸入は補完的なものである。 | 4. 日本はこの国から、鉄鋼の原料となる鉄鉱石や石炭を、原油以上に大量に輸入している。 |
|---|---|---|---|
- 問11 2012年の統計資料において、鉄鉱石の国別産出量で世界第1位でありながら、同時に世界の鉄鉱石輸入割合の60%以上を占めて第1位となっている国はどこですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|------------|
| 1. 日本 | 2. 中国 | 3. ブラジル | 4. オーストラリア |
|-------|-------|---------|------------|
- 問12 中国の経済特区の一つである「深圳（シェンチェン）」の説明として、その発展の経緯や特徴を正しく述べたものはどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 巨大なダム建設によって水運の拠点となり、上海に代わる中国最大の商業都市として成長した。 | 2. 内陸部の資源開発を目的として指定され、少数民族の伝統的な文化を保護しながら工業化を進めた。 | 3. 香港に隣接する地理的利点を活かして外国企業を誘致し、漁村から世界屈指のハイテク都市へと急成長した。 | 4. 一国二制度のもとでイギリスから返還され、高度な自治権を持つ金融センターとして発展を続けている。 |
|--|--|--|--|
- 問13 インドなどの南アジアにおいて、夏に海から吹き、6月から9月頃にかけて多量の降水をもたらす風を何と呼びますか。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|--------|---------------|
| 1. タイフーン | 2. エルニーニョ | 3. 偏西風 | 4. モンスーン（季節風） |
|----------|-----------|--------|---------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 20世紀後半に石炭に代わって主要なエネルギー源となり、火力発電の燃料や自動車の動力などに多用されている。	この資源はロシアやサウジアラビアといった特定の地域に埋蔵が偏っているのが特徴です。1960年代のエネルギー革命によって、石炭に代わって世界の経済活動を支える中心的なエネルギー源となりました。また、エネルギーとしての利用だけでなく、衣服の繊維やプラスチック容器などの化学工業製品の原料としても欠かせない存在です。
問2	答え 1 経済成長に伴って貿易総額が増大し、主要な輸出品目が米などの農産物から、機械類などの工業製品へと変化した。	ベトナムでは1980年代後半からの「ドイモイ（刷新）」政策により、市場経済の導入や外資企業の誘致が進みました。これにより、かつては米や天然ゴムといった農産物や原油などの一次産品が輸出の中心でしたが、工業化が進展したことで、現在はスマートフォンや電子部品などの機械類が主要な輸出品目となっています。この変化は、貿易総額の劇的な増加とともに、国の産業構造が高度化したことを示しています。
問3	答え 4 先進国だけでなく発展途上国も多く参加しており、多様な経済発展段階にある国々が協力して自由な貿易を目指す。	アジア・太平洋地域には、経済発展の度合いが異なる多様な国が存在します。そのため、APECは即座に全ての関税をなくすような厳しい協定ではなく、対話を通じて緩やかに経済協力を進める形をとっています。他の選択肢にあるような共通通貨（EU）や、東南アジア限定（ASEAN）、北米限定（USMCA）の仕組みとは異なる広域的な枠組みです。
問4	答え 4 時差を利用した国際分業	アメリカの夜がインドの昼にあたるという地理的条件を利用し、インターネットを介してソフトウェア開発などの業務をリレー形式で進める仕組みは、時差を利用した国際分業と呼ばれます。これにより、物理的な距離に関わらず24時間体制での開発が可能となり、開発期間の短縮や効率化が実現されています。インドでは英語が公用語の一つであることや、数学教育が盛んであることも、この産業が発展した背景にあります。
問5	答え 2 連邦公用語：ヒンディー語、準公用語：英語	インドでは、主に北部を中心に話されているヒンディー語を連邦公用語と定めています。同時に、植民地時代の歴史的経緯から、共通語としての利便性が高い英語が準公用語として認められ、ビジネスやIT産業の発展を支える要因にもなっています。
問6	答え 3 夏の降水量が多く高温多湿な気候に適しており、単位面積あたりの収穫量が多く多くの人口を養えるため。	米は生育期に高温と多量の水を必要とするため、モンスーン（季節風）の影響で夏に降水量が多くなるアジアの気候条件に非常に適しています。また、米は小麦などの他の穀物と比較して単位面積あたりの生産量が高く、養える人口が多いため、古くから人口密度が高いアジア地域の主食として生産が集中してきました。現在でも世界の米生産量の約9割がアジア州で占められています。
問7	答え 1 東南アジア	タイやベトナムはアジア大陸の南東部に位置し、インドネシアは数多くの島々で構成される国家です。これらの国々は、地域の経済発展や安定を目指し、ASEAN（東南アジア諸国連合）を組織して協力関係を築いています。
問8	答え 1 東南アジア地域の安定と経済成長を目的とし、域内の関税撤廃や経済格差の是正を進めること	当初の政治的安定という目的に加え、現在では「ASEAN経済共同体」などを通じて、ヒト・モノ・サービスの自由な移動を促進しています。域内での関税を原則撤廃することで、一つの大きな市場としての競争力を高め、経済的な結びつきを強める狙いがあります。
問9	答え 1 インド	インドはかつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、イギリスとの人的・経済的な結びつきが非常に強く、移住者が多い傾向にあります。文化面では、人口の約8割がヒンドゥー教を信仰しており、教義に基づいて牛を神聖な動物として大切にする習慣があります。
問10	答え 2 日本は発電や輸送に欠かせない化石燃料の多くを、特定の地域や国に依存している。	日本のエネルギー自給率は低く、特に原油についてはその約9割をアラブ首長国連邦を含む西アジア（中東）地域からの輸入に頼っています。貿易統計において原油や液化天然ガスの割合が極めて高いことは、日本のエネルギー安全保障が特定の資源国との安定した関係に支えられていることを示しています。鉄鉱石や石炭は主にオーストラリアなどから輸入されており、産油国であるアラブ首長国連邦の主な輸出項目ではありません。
問11	答え 2 中国	統計において「産出量」と「輸入量」の双方が世界トップクラスであるのは中国の特徴です。日本は鉄鉱石をほぼ100%輸入に頼っていますが、自国での産出はほとんどありません。また、オーストラリアやブラジルは世界有数の鉄鉱石産出国ですが、これらは「輸出」に回す割合が非常に高い国々です。自国の旺盛な需要を背景に、産出と輸入の両面で突出している中国の現状を把握しましょう。
問12	答え 3 香港に隣接する地理的利点を活かして外国企業を誘致し、漁村から世界屈指のハイテク都市へと急成長した。	深圳は1980年に最初の経済特区として指定されました。隣接する香港からの資本や技術を取り入れやすく、急速な工業化が進みました。現在はIT産業の集積地として知られ、中国のイノベーションを牽引する都市となっています。なお、「一国二制度」や「返還」は香港やマカオに関する説明です。
問13	答え 4 モンスーン（季節風）	インドなどの南アジアでは、夏になると海から陸に向かって湿ったモンスーン（季節風）が吹きます。この風の影響により、6月から9月頃にかけて雨季となり、集中した多量の雨が降ることになります。